

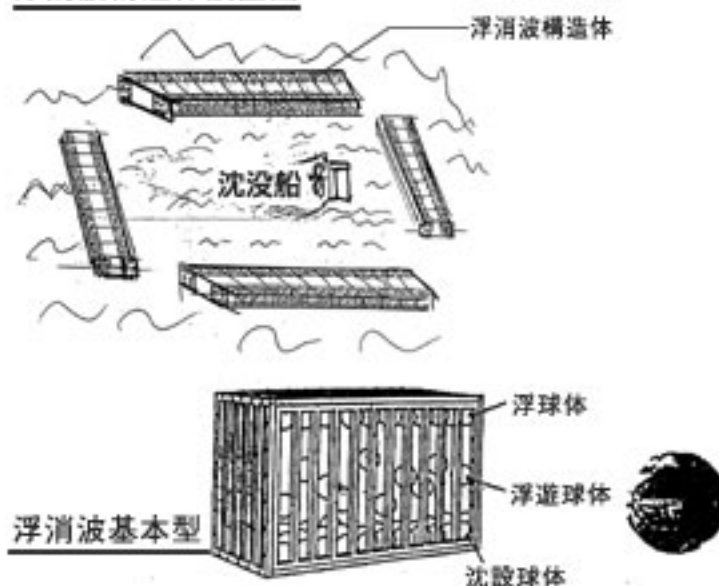
## 浮消波構造体による洋上流出油の拡散防止法

### 概要と特徴

沈没または座礁した船舶の周囲に一定間隔で浮消波構造体を架設し、当該船舶に打ち寄せる波浪を消波しながら、船舶より流出する石油類の拡散を防ぎ、流出油の効率的な回収を可能とした洋上流出油の拡散防止法。

浮消波構造体は、金属性櫛状の筐体の中に再資源化でできた3種類の水に浮く球体を収容したもの。これを二連又は三連として、この上に甲板をつけて架設する。これにより、波浪が大きい場合でも有効に消波するため、流出油の回収作業を容易に行うことができる。

浮消波構造体設置図



### 用途

(1) 沈没または座礁した船舶からの油流出事故の対応

### 技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与 共同研究開発  
 (2) 相手先 企業規模不問 (海洋関係企業)  
 (3) 地域 国内外いずれでもよい

### 実用化・情報

[試作・実験] 未了  
 [製造・販売実績] 無  
 [技術情報の提供] 技術資料、特許公報  
 [連絡先] F.B.S開発研究所 宮崎幸雄  
 〒362-0063  
 埼玉県上尾市小泉35-46  
 TEL.048-781-1369 FAX.048-781-1369

### 特許等

特許権者：宮崎幸雄  
 特許番号：特許第3044471号  
 出願番号：特願平2-1566661  
 出願日：平成2年6月16日  
 公開番号：特開平4-49312  
 公開日：平成4年2月18日  
 登録日：平成12年3月17日